

東京聖三一教会

2025年 大齋講話

大齋節第1主日～第5主日礼拝後
聖堂にて

さまざまな信仰の道 —
主に結ばれた教会・人々の歩みを知る

- **第1回 3/9 大齋節40日間の歩み** 菅原裕治司祭
大齋節を迎え、この期節の意味・復活日までの精神的な備え・信仰生活の持ち方等について導きを頂く。
- **第2回 3/16 北関東/東京 新教区設立に向けて** 後藤 務さん
今年秋の教区会で、両教区の合同・新教区設立についての賛否が正式に問われる。教区・教会として新たな道へと踏み出す備えとして、その経緯、意味、また準備期間であるこの5年間の状況や懸案等を正しく理解する機会としたい。
- **第3回 3/23 今、再び信仰の歩みへ** 岸 輝雄さん
幼少期から教会とのつながりを保たれ、昨年、の堅信を経て改めて信仰の道を踏み出された岸輝雄さん。科学者ならではの視点も交えつつ、その足跡、教会への思いなどをお話しいただく。
- **第4回 3/30 聖職への道を歩みはじめて** 川島創士さん
(中部教区聖職候補生)
代沢の地で歩み始めた当教会の初代牧師を曾祖父に持つ川島創士さん。聖公会神学院と立教大学博士後期課程で学ぶ今、聖職を目指すに至った経緯や思い、「今」そして「これから」の教会をどのように捉えているか、などを伺う。
- **第5回 4/6 教会の外へ—鶴牧集会43年の歩み** 小林幸子さん
43年にわたり、ご自身の居住地域に代々の牧師を招き“聖書を読む集い”を続けておられる小林幸子さん。日曜日限定されがちな教会の活動が、どのように外へと開かれたのか、またクリスチャンではない人々にみことばを伝え続ける思い、ご苦労などを伺う。